

令和4年度

# 事務事業評価シート（消防本部）

- ・ 消防署 1頁～4頁
- ・ 消防総務課 5頁～13頁
- ・ 警防課 14頁～17頁
- ・ 予防課 18頁

菊川市

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業																																																																															
R4	事業名	救急講習等事業																																																																																			
総合計画	体系・概要	<p>基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち</p> <p>政策 1 防災力を高めるまちづくり</p> <p>施策 4 市民の防災活動への参加を推進します</p>																																																																																			
	事業の目的	市民の防災活動への参加を推進するため、救急講習等事業により、救急講習会等を開催し、応急手当知識の普及と啓発する。		事業の概要																																																																																	
	事業成果	<p>・応急手当協力事業所として、5事業所(ヤマハ発動機株式会社菊川テストコース、SUS株式会社静岡事業所、富士工業株式会社、社会福祉法人白翁会内田デイサービスセンター、ホンダカーズ駿河菊川店)を認定した。</p> <p>・普通救命講習会(75回、864人)及び救急一般講習会(38回、711人)を開催し、応急手当法を広めることが出来た。</p>																																																																																			
	事業課題	感染防止対策を徹底し安心して講習会へ参加してもらえるように広報を行い、講習会参加者が増加傾向となったが、さらに積極的な受講が望まれる中、eラーニングを活用した普通救命講習会を取り入れ、講習の質を保ちつつ受講者や指導者双方の負担を軽減するための研究が必要である。																																																																																			
事業コスト分析	事業の目的	<p>市民の防災活動への参加を推進するため、救急講習等事業により、救急講習会等を開催し、応急手当知識の普及と啓発する。</p>																																																																																			
	事業の概要	<p>応急手当に関する正しい知識と技術の習得のため、救急講習を実施するとともに、応急手当の普及活動に積極的に取り組む事業所を推進する。</p>																																																																																			
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>103.6%</td> <td>D</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>235.5%</td> <td>D</td> <td>人件費</td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容	103.6%	D	2		効率性	4:高い	総事業コスト	効率	1	A	有効性	4:高い	235.5%	D	人件費		必要性	4:高い	総合判定評価																																																			
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																		
	一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容																																																																															
	103.6%	D	2		効率性	4:高い																																																																															
	総事業コスト	効率	1	A	有効性	4:高い																																																																															
	235.5%	D	人件費		必要性	4:高い																																																																															
	事業の進め方の改善の検討	<p>B 事業の進め方の改善の検討</p> <p>R6年度の方向性</p> <p>コスト 縮小↓ 成果 維持→</p> <p>改善 ②事業規模</p>																																																																																			
	担当評価	<p>救急講習会に必要な資器材を更新することで円滑で効果的な講習会を開催することができた。応急手当協力事業所として新規5事業所の認定と20事業所を継続認定した。</p> <p>市民の救命率向上に欠かせない応急手当法を更に普及させるため、本事業を継続して推進する必要がある。</p>																																																																																			
加える変化	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>自治会回覧や街頭広報に加え、SNSなど効果的な広報活動により応急手当の重要性や救命講習会への参加を呼び掛けていくとともに、eラーニングを活用した講習会の開催を増加させるなど、効率的な講習方法の研究にも取り組んでいく。</p>																																																																																				
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1000000</td> <td>救急講習等事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>296,000</td> <td>△ 103,000</td> <td>74.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>79,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>217,000</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <p>・講習用資器材の購入、維持及び管理</p> <p>・普通救命講習会等の開催</p> <p>・応急手当協力事業所の認定</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <p>下期実施内容変更見込み</p> </td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	9	1	1	1000000	救急講習等事業費	<table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>296,000</td> <td>△ 103,000</td> <td>74.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>79,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>217,000</td> </tr> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	296,000	△ 103,000	74.2%		0	79,000	0	0	217,000	<p>・講習用資器材の購入、維持及び管理</p> <p>・普通救命講習会等の開催</p> <p>・応急手当協力事業所の認定</p>					<p>下期実施内容変更見込み</p>																																									
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																	
9	1	1	1000000	救急講習等事業費																																																																																	
<table border="1"> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>296,000</td> <td>△ 103,000</td> <td>74.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>79,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>217,000</td> </tr> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	296,000	△ 103,000	74.2%		0	79,000	0	0	217,000																																																															
予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																													
296,000	△ 103,000	74.2%		0	79,000	0	0	217,000																																																																													
<p>・講習用資器材の購入、維持及び管理</p> <p>・普通救命講習会等の開催</p> <p>・応急手当協力事業所の認定</p>																																																																																					
<p>下期実施内容変更見込み</p>																																																																																					
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>568,000</td> <td>272,000</td> <td>191.9%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>568,000</td> </tr> </table> <p>・講習用資器材の購入、維持及び管理</p> <p>・普通救命講習会等の開催</p> <p>・応急手当協力事業所の認定</p> <p>R5年度比較増減要因</p> <p>R7年度増減見込み</p> <p>令和6年度と同程度となる見込みである。</p>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	568,000	272,000	191.9%		0	0	0	0	568,000																																																														
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																													
568,000	272,000	191.9%		0	0	0	0	568,000																																																																													
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	<p>いざという時に誰もが応急手当ができるようにするための応急手当の普及啓発は必要な事業であり、応急手当協力事業所の認定及び普通救命講習会の開催は欠かせないものである。</p>																																																																																				
事業実施内容	<p>・応急手当に関する正しい知識や技術習得に積極的な取り組みをしている事業所を、応急手当協力事業所として認定した。</p> <p>・応急手当の必要性や普通救命講習会の開催等について自治会への回覧やSNSを活用した広報を行い、市民を対象とした一般公募による定期的な講習会、事業所や各種団体からの申込みによる普通救命講習会や救急一般講習会を随時開催した。</p> <p>・救命講習に使用するプロジェクターやポータブル拡声器を更新した。</p>																																																																																				
指標・実施内容	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>普通救命講習会(一般公募)の開催回数</td> <td>回</td> <td>11.0</td> <td>12.0</td> <td>0.0</td> <td>8.0</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>83.3%</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>1回当たりの講習会参加者数</td> <td>人</td> <td>8.3</td> <td>8.0</td> <td>0.0</td> <td>7.1</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>115.0%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	普通救命講習会(一般公募)の開催回数	回	11.0	12.0	0.0	8.0	12.0				1	7		83.3%	C	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0				効率1	1回当たりの講習会参加者数	人	8.3	8.0	0.0	7.1	8.0				1	7		115.0%	A	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0			
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																															
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																														
成果1	普通救命講習会(一般公募)の開催回数	回	11.0	12.0	0.0	8.0	12.0																																																																														
			1	7		83.3%	C																																																																														
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																														
			0	0																																																																																	
効率1	1回当たりの講習会参加者数	人	8.3	8.0	0.0	7.1	8.0																																																																														
			1	7		115.0%	A																																																																														
効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																														
			0	0																																																																																	



事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業						
R4	事業名	救急活動事業										
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 3 消防力を高めるまちづくり 施策 1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります										
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、救急活動事業により、資機材を計画的に整備するとともに救急想定訓練を行い、職員の災害対応力を向上する。		事業の概要 救急活動に必要な資機材の整備及び適切な維持管理を行うとともに、救急現場を想定した各種訓練を実施し、隊員の技術、能力、知識を高める。								
	事業成果	救急資機材の整備とともに、救急現場を想定した訓練や他機関との合同訓練、新型コロナウイルス感染症陽性者の事業を想定した救急訓練、研修会を実施し、現場活動対応能力が向上した。										
	事業課題	救急現場では救急救命士を中心とした器具を使った気道確保や薬剤投与など高度な救命処置が求められているため、更なる技術や知識の向上に務めなければならない。										
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		9 1 1	200000	救急活動事業費								
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		3,018,000	3,418,000	400,000	113.3%		687,000	119,000	0	2,000	2,610,000	
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度							
	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
	予算額	2,215,000	3,018,000	3,418,000	節	決算額	節	決算額				
	決算額	2,170,821	2,943,432	3,344,657	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
	不用額	44,179	74,568	73,343	02 給料	0	17 備品購入費	0				
	執行率	98.0%	97.5%	97.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0				
財源内訳	国庫支出金	57,080	478,115	686,672	04 共済費	0	19 扶助費	0				
県支出金	56,000	68,000	138,600	05 災害補償費	0	20 貸付金	0					
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0					
その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0					
一般財源	2,057,741	2,397,317	2,519,385	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0					
前年比較	—	—	116.5%	D	105.1%	D	09 交際費	0	24 積立金	0		
職員人件費	0	0	0	10 需用費	2,627,490	25 寄附金	0					
総事業コスト	2,170,821	2,943,432	3,344,657	11 役務費	486,167	26 公課費	0					
前年比較	—	—	135.6%	D	113.6%	D	12 委託料	231,000	27 繰出金	0		
主財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	686,672	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
県新型コロナウイルス感染症患者等移送費負担金	138,600	14 工事請負費	0									
		15 原材料費	0	合計	3,344,657							
コスト分析	新型コロナウイルス感染者搬送に係る資機材購入及び需用費消耗品価格の上昇、または購入数増加により増額となった。											
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度				
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	訓練実施時間	時間	1,477.0	1,200.0	0.0	1,428.0	566.0	635.5	564.0	636.0
					1	7			112.3%	A	112.8%	A
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0							
	効率1	救急資機材等の早期購入	%	100.0	100.0	0.0	100.0	90.0	100.0	90.0	100.0	
				1	7			111.1%	A	111.1%	A	
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0							
事業実施内容	・感染防止衣、外傷対応資機材及び救急救命士が使用する特定行為資機材の整備並びに、メインストレッチャーの保守点検を行った。 ・救急資機材の取扱いや基本動作訓練、救急事業の検証会をもとに、急病、交通事故、労働災害などを想定した部隊訓練の他、ドクターヘリや近隣消防本部との合同訓練を実施した。 ・新型コロナウイルス感染者の事業を想定した救急訓練を実施した。											
CHECK評価	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 災害に対して迅速かつ的確な活動を行うため、救急資機材の整備や保守点検、救急隊員の装備を充実させることが必要である。										
		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 多種多様化している救急事業への適切な対応や高度な救命処置を実施するため、救急訓練を継続し、知識、技術及び能力の維持向上を図っていく。										
		各評価結果 事業コスト評価 一般財源 105.1% D 総事業コスト 113.6% D 指標評価 1 A 2 1 A 人件費 評価視点 効率性 3: やや高い 有効性 4: 高い 必要性 4: 高い 評価内容 A 現状維持 計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」										
		総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R6年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ②事業規模										
		担当評価 世界的な新型コロナウイルス感染に伴い、物流の不安定や救急資機材の高騰があったが、早期発注したことにより、予定通り資機材を確保することができた。										
CHECK評価	実施内容	款 項 目	事業番号	事業名称								
		9 1 1	200000	救急活動事業費								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		3,459,000	41,000	101.2%		0	3,000	0	0	3,456,000		
		・救急資機材の整備 ・救急資機材の維持管理及び保守点検 ・救急医療廃棄物の管理(処理) ・救急現場を想定した各種訓練等の実施	下期実施内容変更見込み									
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	6,077,000	2,618,000	175.7%		0	0	0	0	6,077,000			
	・救急資機材の整備 ・救急資機材の維持管理及び保守点検 ・救急医療廃棄物の管理(処理) ・救急現場を想定した各種訓練等の実施	R5年度比較増減要因 高度シミュレータ(備品)を整備するため増額要因である。										
	R6年度 R7年度増減見込み 対象となる備品整備がないため減額見込みである。											



事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業													
R4	事業名	常備消防施設管理事業																	
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																	
	政策	3 消防力を高めるまちづくり																	
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります																	
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、常備消防施設管理事業により、消防庁舎の適切な維持管理を行うとともに、各種災害に対する的確な対応が可能な環境を整備する。		事業の概要 浄化槽等の施設管理業務の発注を行い消防庁舎の適切な維持管理を行うとともに、建物の長寿命化に向け検討していく。															
事業・概要	事業成果	消防庁舎等の設備保守管理、環境衛生管理、日常・定期清掃、機器運転監視等の総合管理業務を適正に行うとともに、必要な修繕等を行い、庁舎の健全性が保たれている。																	
	事業課題	消防庁舎運用開始から9年が経過し、修繕の必要な箇所が出てきているため、修繕計画を作成して、計画的に対応していく必要がある。																	
	各評価結果																		
	事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価										
	決算前年比	一般財源	D	成果	1	B	評価視点		評価内容										
		119.5%		D	2		効率性	4:高い	A	現状維持									
		総事業コスト		1	D	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」		R6年度の方向性									
	218.8%	D	効率	1	D	必要性	4:高い	コスト	縮小↓	成果	維持→								
	R6年度の方向性		改善		②事業規模		R6年度の方向性												
	担当評価						職員の節電意識をより高め、電気料金の削減を引き続き行っていく。												
事業コスト分析	款 項 目		事業番号		事業名称														
	9	1	1	500000	常備消防施設管理費														
	R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	14,792,000		31,848,000		17,056,000	215.3%	9,422,000	0	5,400,000	372,000		16,654,000							
	事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度													
	項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳													
	予算額		16,766,000	14,792,000	31,848,000	節	決算額	節	決算額										
	決算額		16,294,668	14,263,740	31,175,589	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0								
	不用額		471,332	528,260	672,411	02	給料	0	17	備品購入費	586,025								
	執行率		97.2%	96.4%	97.9%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	0								
決算内訳	国庫支出金		1,309,000	466,299	9,420,643	04	共済費	0	19	扶助費	0								
	県支出金		0	0	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0								
	地方債		0	0	5,400,000	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0								
	その他		367,188	390,581	330,260	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0								
	一般財源		14,618,480	13,406,860	16,024,686	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0								
	前年比較		—	—	91.7%	B	119.5%	D	09	交際費	0	24	積立金	0					
	職員人件費		0	308,000	701,000	10	需用費	6,162,680	25	寄附金	0								
	総事業コスト		16,294,668	14,571,740	31,876,589	11	役務費	136,408	26	公課費	0								
	前年比較		—	—	89.4%	A	218.8%	D	12	委託料	9,611,526	27	繰出金	0					
	主財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		9,420,643		13	使用料及び賃借料	61,050		予備費	0								
地域活性化事業債		5,400,000		14	工事請負費	14,617,900													
諸収入(自販機設置手数料、電気料等使用者負担金)		330,260		15	原材料費	0	合計	31,175,589											
コスト分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の節電意識の高まりとともに、庁舎の照明をLED化したことにより電気使用量は減少傾向にある。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗い・消毒等を行う回数が増え水道料金が増加傾向にあり、また単価の上昇によりガス料金が増額傾向にある。</li> <li>令和4年度は庁舎照明LED化に取り組んだことから、工事請負費が増額となった。</li> </ul>																	
指標・実施内容	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度												
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値								
	成果1	上半期に工事及び備品の発注を行う	%	100.0	100.0	0.0	6.0	100.0	100.0	100.0	100.0								
				1	7			100.0%	B	100.0%	B								
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
				0	0														
	効率1	光熱水費の削減	千円	3,900.0	3,600.0	0.0	3,604.0	4,028.0	2,913.0	3,600.0	5,145.0								
				1	7	0.0%	E	138.3%	S	70.0%	D								
	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
				0	0														
事業実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎の総合管理業務委託</li> <li>浄化槽の法定検査</li> <li>自動ドアのセンサー等の修繕</li> <li>消防庁舎照明LED化工事</li> <li>非接触式検知サーモマネージャー購入</li> </ul>																	
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要経費の支払い(光熱水費、施設管理委託料等)</li> <li>消防庁舎の修繕、工事</li> <li>消耗品、備品の購入</li> </ul>																	
R5年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度はLED化工事を実施しており、令和6年度は工事請負費が減少したことが減額要因である。</li> </ul>																	
R6年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎の屋上防水防水工事を予定していることにより、増額見込みである。</li> </ul>																	
R7年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>増額見込みである。</li> </ul>																	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																			
市民を災害から守るという使命の下に、常に万全の体制を維持していくことが大切であることから、活動拠点となる消防庁舎の維持管理は継続する必要がある。																			
ACTION改善		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 夜間も業務を行うことから、照明のLED化をさらに進める。																	
実行計画事業		款 項 目		事業番号		事業名称													
R5年度		9 1 1		500000		常備消防施設管理費													
R6年度		計画額		前年増減額		前年比		財源内訳		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
R6年度		16,749,000		△ 4,837,000		77.6%		0		0		0		0		0		16,749,000	
R6年度		実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要経費の支払い(光熱水費、施設管理委託料等)</li> <li>消防庁舎の修繕、工事</li> <li>消耗品、備品の購入</li> </ul>															
R6年度		R5年度比較増減要因		令和5年度はLED化工事を実施しており、令和6年度は工事請負費が減少したことが減額要因である。															
R6年度		R7年度増減見込み		消防庁舎の屋上防水防水工事を予定していることにより、増額見込みである。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業								
R4	事業名	常備消防総務事業												
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 3 消防力を高めるまちづくり 施策 2 消防技術の向上を目指します												
	事業の目的	消防技術を向上させるため、常備消防総務事業により、静岡県消防学校等への職員派遣や各種研修等の受講を実施し、専門知識や技術力を高め、消防力の強化を図る。		教育や各種研修等の受講により、職員一人一人のレベルアップに取り組む。										
	事業の概要													
	事業成果	静岡県消防学校での教育や病院実習、救急救命養成の研修などにより、職員の育成及び知識や能力向上が図られた。												
事業課題	職員の知識・技術の習得や向上と将来の幹部職員育成のため、今後も専科教育による専門的教育への派遣が必要である。													
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称										
		9 1 1	700000	常備消防総務費										
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		14,373,000	15,074,000	701,000	104.9%		1,710,000	0	0	830,000	12,534,000			
		事業費割合(事業費/施策費)	R2年度	R3年度	R4年度									
	コスト分析	決算(円)	項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳							
			予算額	12,985,000	14,373,000	15,074,000	節	決算額	節	決算額				
			決算額	12,475,931	13,759,596	14,144,191	01 報酬	2,075,813	16 公有財産購入費	0				
			不用額	509,069	613,404	929,809	02 給料	0	17 備品購入費	3,694,725				
			執行率	96.1%	95.7%	93.8%	03 職員手当等	331,228	18 負担金、補助及び交付金	4,080,926				
主財源		国庫支出金	0	0	1,709,070	04 共済費	0	19 扶助費	0					
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0					
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0					
		その他	1,221	1,145	831,475	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0					
		一般財源	12,474,710	13,758,451	11,603,646	08 旅費	593,608	23 投資及び出資金	0					
コスト分析	前年比較	—	—	110.3% D	84.3% A	09 交際費	0	24 積立金	0					
	職員人件費	0	2,256,000	2,876,000	10 需用費	586,304	25 寄附金	0						
	総事業コスト	12,475,931	16,015,596	17,020,191	11 役務費	215,453	26 公課費	0						
	前年比較	—	—	128.4% D	106.3% D	12 委託料	151,260	27 繰出金	0					
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			1,709,070	13 使用料及び賃借料	2,414,874	予備費	0						
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	救急救命士数	人	21.0	0.0	0.0	1.0	23.0	23.0	24.0	24.0		
					1	7			100.0%	B	100.0%	B		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			0	0										
効率1	救急救命士資格者の採用	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
			1	7										
効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
			0	0										
指標・実施内容	事業実施内容	静岡県消防学校や救急救命東京研修所等への職員派遣に必要な手続きを進め、予定していた研修に職員を派遣した。												
		活動服の更新など、必要な貸与品の購入を行った。												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	静岡県消防学校において、ホットトレーニング講習が新設され職員を派遣したことなど増額となっている部分もあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート講義などにより研修負担金の減額・旅費の減額等があり、事業費は減となっている。												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
市民を災害から守るという使命のため、職員の知識・技術の習得や向上、安全確保には必要な業務である。														
CHECK評価	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性												
		専門的知識等を養うために、静岡県消防学校への大規模災害の専科教育派遣を追加する。												
		R6年度の方向性												
		A 計画どおりに事業を進めることが適当												
		R6年度の方向性												
	CHECK評価	CHECK評価	R6年度の方向性											
			コスト 維持→ 成果 維持→											
			改善 ②事業規模											
			静岡県消防学校等へ職員を派遣し、職員の知識・技術の習得と将来の幹部職員育成に繋がった。											
			R5年度 実施内容											
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
		R7年度 実施内容												
		R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												
CHECK評価	CHECK評価	R5年度 実施内容												
		R6年度 実施内容												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業	○											
R4	事業名	消防団運営事業																
総合計画	体系・概要	<p>基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち</p> <p>政策 3 消防力を高めるまちづくり</p> <p>施策 3 消防団の防災力の維持・向上を図ります</p>						事業成果										
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団運営事業により、消防団活動に対する手当の支給や研修による団員の技術や知識の向上に取り組むことで、消防団活動の円滑化と体制強化を図り、地域防災力を強化する。		<p>手当等の支給により、消防団活動の円滑化を図るとともに、各種研修等を受講して消防団員の技術や知識の向上に取り組む。</p>					事業課題									
	事業の概要																	
	事業内容																	
事業の目的																		
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称		<p>各評価結果</p> <p>事業コスト評価</p> <p>指標評価</p> <p>事業内容評価</p> <p>評価視点</p> <p>評価内容</p> <p>総合判定評価</p> <p>A 計画どおりに事業を進めることが適当</p> <p>R6年度の方向性</p> <p>コスト 維持→ 成果 維持→</p> <p>改善 ②事業規模</p>										
	9	1	2	200000	消防団運営費													
	R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	33,955,000		34,328,000		373,000	101.1%			1,253,000	41,000	0	8,580,000	24,454,000					
	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度		R4年度											
	項目		R2年度		R3年度		R4年度		事業費内訳									
	予算額		34,673,000		33,955,000		34,328,000		節	決算額	節	決算額						
	決算額		33,348,360		31,904,410		32,365,363		01	報酬	0	16	公有財産購入費	0				
	不用額		1,324,640		2,050,590		1,962,637		02	給料	0	17	備品購入費	0				
	執行率		96.2%		94.0%		94.3%		03	職員手当等	5,514,700	18	負担金、補助及び交付金	14,634,781				
CHECK評価	決算(円)	国庫支出金		6,000		40,000		1,604,680		04	共済費	0	19	扶助費	0			
	県支出金		106,000		81,000		41,000		05	災害補償費	0	20	貸付金	0				
	地方債		0		0		0		06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0				
	その他		8,627,000		8,836,513		8,519,830		07	報償費	9,939,761	22	償還金、料子及び割引料	0				
	一般財源		24,609,360		22,946,897		22,199,853		08	旅費	156,000	23	投資及び出資金	0				
	前年比較		—		93.2% B		96.7% B		09	交際費	20,000	24	積立金	0				
	職員人件費		0		2,863,000		2,672,000		10	需用費	2,100,121	25	寄附金	0				
	総事業コスト		33,348,360		34,767,410		35,037,363		11	役務費	0	26	公課費	0				
	前年比較		—		104.3% D		100.8% D		12	委託料	0	27	繰出金	0				
	主財源		消防団員退職報償金		8,505,000		13		使用料及び賃借料	0	予備費	0						
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		1,604,680		14		工事請負費	0											
地震・津波対策等減災交付金「他」		55,830		15		原材料費	0	合計	32,365,363									
コスト分析		<p>職員手当等は、各種手当(出勤・活動)の増加により増額となった。</p> <p>報償費は退団者が予定より減ったため減額となった。</p> <p>需用費は、新型コロナウイルス感染症対策資機材を購入したため増額となったが、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を充当した。</p> <p>負担金、補助及び交付金は団員数が減ったため減額となった。</p>																
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価										R2年度		R3年度		R4年度		<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>消防団協力事業所及び消防団応援の店の推進を継続するとともに、消防団員としての更なるメリットや消防団に対する理解について研究し、団員確保に繋げていく。</p>
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	成果1	地区自治会への団員確保協力依頼回数	回	11.0	11.0	0.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0				
				1	7			100.0%	B	100.0%	B							
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
				0	0													
	効率1	連合自治会役員への事前説明	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0					
				1	7			100.0%	B	100.0%	B							
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
				0	0													
事業実施内容	<p>消防団員へ各種手当(出勤・活動)の支払い</p> <p>消防団員退職報償金掛金、公務災害補償掛金及び福祉共済掛金の支払い</p> <p>消防団広報誌の発行</p> <p>消防団員退職報償金の支払い</p> <p>消防団個人装備品の購入</p> <p>消防団運営費交付金の支払い</p>																	
実施内容		<p>各種手当(出勤・活動)の支払い</p> <p>退職報償金掛金、公務災害補償掛金及び福祉共済掛金の支払い</p> <p>広報誌の発行</p> <p>退職報償金の支払い</p> <p>個人装備品の購入</p> <p>消防団運営費交付金の支払い</p>												<p>R5年度比較増減要因</p> <p>個人装備品整備数の増、静岡県消防操法大会が実施されることが、増額要因である。</p>				
実施内容		<p>計画額</p> <p>前年増減額</p> <p>前年比</p> <p>財源内訳</p> <p>国庫支出金</p> <p>県支出金</p> <p>地方債</p> <p>その他</p> <p>一般財源</p>												<p>R7年度増減見込み</p> <p>静岡県消防操法大会が実施されないことにより、減額見込みである。</p>				
実施内容		<p>31,603,000</p> <p>1,492,000</p> <p>105.0%</p> <p>0</p> <p>182,000</p> <p>0</p> <p>8,565,000</p> <p>22,856,000</p>												<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>団員が活動しやすい環境づくりは消防団活動の基礎的事業であり、一層の活動環境整備が必要であることから業務の継続は必要である。</p>				



事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業
R4	事業名	消防団資機材整備事業				
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 政策 3 消防力を高めるまちづくり 施策 3 消防団の防災力の維持・向上を図ります				
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団資機材整備事業により、消防資機材及び団員個人の装備を充実し、消防団の災害活動強化及び現場での団員の安全を確保する。				
	事業の概要	防災資機材及び個人装備品を整備する。				
	事業成果	・分団へ資機材を整備し、災害活動時の充実強化を図った。 ・新入団員に貸与する被服等の購入及び団員に貸与する防火衣を更新整備し、団員の安全確保を図った。				
事業コスト分析	事業課題	整備する資機材は、耐用年数等を考慮した更新が必要である。				
	評価分析・総合判定評価	各評価結果 事業コスト評価 指標評価 事業内容評価 一般財源 90.0% A 成果 1 B 評価視点 評価内容 2 効率性 4:高い A 現状維持 1 B 有効性 4:高い 計画の進捗と成果に近い状態⇔計画通り 2 必要性 4:高い 総事業コスト 93.9% B 効率 1 B 人件費				総合判定評価 A 計画どおりに事業を進めることが 適当 R6年度の方向性 コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ②事業規模
	担当評価	新入団員に貸与する被服等を早期に配布し、分団に資機材を適切に配布したことで、活動における安全を確保できた。				
	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 資機材の適切な維持管理に努め、取り扱いについても習熟度を上げる研修を計画・実施していく。				
	実行計画事業(円)	款 項 目 事業番号 事業名称 9 1 2 400000 消防団資機材整備費 予算額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 7,288,000 3,149,000 176.1% 0 2,145,000 0 374,000 4,769,000 実施内容 ・分団へ配備する資機材(消火用ホース、投光器及び発電機等)更新整備 ・団員の防火衣更新整備 ・新入団員へ貸与する被服等の購入 下期実施内容変更見込み				
	コスト分析	計画額 前年増減額 前年比 財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 9,686,000 2,398,000 132.9% 0 2,010,000 0 0 7,676,000 実施内容 ・分団へ配備する資機材(消火用ホース、投光器及び発電機等)更新整備 ・団員の防火衣更新整備 ・新入団員へ貸与する被服等の購入 R5年度比較増減要因 R6年度 R7年度増減見込み				
	指標・実施内容	事業指標・評価 指標名 単位 現状値 目標値 目標値 実績値 目標値 実績値 目標値 実績値 年度 年度 達成率 評価 達成率 評価 達成率 評価 成果1 分団及び団員個人に貸与する資機材の整備 % 0.0 0.0 0.0 100.0 95.0 95.0 92.0 93.0 1 7 100.0% B 101.1% B 成果2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0 0 効率1 団員一人当たりの消防団資機材整備事業費 千円 0.0 0.0 0.0 21,190.0 15.0 15.0 12.0 13.0 1 7 0.0% D 100.0% B 92.3% B 効率人件費 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0 0 事業実施内容 ・分団へ配備する資機材(消火用ホース、投光器及び発電機等)の更新 ・新入団員に貸与する被服等の購入及び団員に貸与する防火衣を更新				
	事業実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 消防団資機材の整備は、団員の安全確保と災害対応力の強化を図る上で必要な事業である。				

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業					
R4	事業名	消防団員報酬事業									
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち									
	政策	3 消防力を高めるまちづくり									
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります									
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団員報酬事業により、報酬の支払いを適正かつ確実にを行うことで、消防団員の身分を保障する。		事業の概要 階級(職階)に応じて年間報酬を全団員へ支払う。							
事業成果	・消防団員への報酬支払いを適正かつ早期に完了した。					事業課題 年度当初に支払い事務を完了できるように、新入団員等の口座情報を早期に調査する必要がある。					
事業コスト分析	各評価結果										
	事業コスト評価			指標評価		事業内容評価	総合判定評価				
	一般財源	93.4%	B	成果	1 B	評価視点	A 計画どおりに事業を進めることが 適当				
	総事業コスト	94.2%	B	効率	1 B	評価内容	R6年度の方向性				
	人件費			2		効率性 4:高い	現状維持				
				1 B		有効性 4:高い	計画の進捗と成果に 近い状態⇔「計画通り」				
						必要性 4:高い	コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ②事業規模				
	報酬額見直しによる条例改正を行い、R5年度からの消防団員報酬額を増額できた。 QRコードを利用した、LoGoフォームでの団員情報の登録を開始したことにより、申請者・事務の負担を減らすことができた。										
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 新入団員等の情報を前年度末までに把握し、年度当初に年間報酬を支払えるよう業務を進める。										
	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称							
9 1 2	100000	消防団員報酬費									
R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
18,435,000	16,836,000	△ 1,599,000	91.3%		0	0	0	0	16,836,000		
事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度							
項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
予算額		19,181,000	18,435,000	16,836,000	01 報酬	16,566,000	16 公有財産購入費	0			
決算額		18,336,000	17,742,000	16,566,000	02 給料	0	17 備品購入費	0			
不用額		845,000	693,000	270,000	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
執行率		95.6%	96.2%	98.4%	04 共済費	0	19 扶助費	0			
決算(円)	国庫支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
	県支出金	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
	地方債	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0			
	その他	0	0	0	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0			
	一般財源	18,336,000	17,742,000	16,566,000	09 交際費	0	24 積立金	0			
	前年比較	— —	96.8% B	93.4% B	10 需用費	0	25 寄附金	0			
	職員人件費	0	343,000	466,000	11 役務費	0	26 公課費	0			
	総事業コスト	18,336,000	18,085,000	17,032,000	12 委託料	0	27 繰出金	0			
	前年比較	— —	98.6% B	94.2% B	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0			
	主財源				14 工事請負費	0					
				15 原材料費	0	合計	16,566,000				
コスト分析	報酬は、団員数の減少により減額となった。										
指標・実施内容	事業指標・評価										
	指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	成果1	団員報酬の支払い回数	回	40.0	0.0	0.0	310.0	1.0	2.0	1.0	1.0
				1	7			200.0%	S	100.0%	B
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0						
	効率1	報酬支払い事務	回	2.0	0.0	0.0	5.0	1.0	2.0	1.0	1.0
				1	7			200.0%	S	100.0%	B
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				0	0						
実施内容	・消防団員への年間報酬の支払い										
実行計画事業(円)	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 消防団員の身分を保障する事業であり、必要不可欠な事業である。										
	R5年度 実施内容										
	款 項 目	事業番号	事業名称								
	9 1 2	100000	消防団員報酬費								
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	26,369,000	9,533,000	156.6%		0	0	0	0	26,369,000		
	団員への年間報酬の支払い										
	下期実施内容変更見込み										
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	26,369,000	0	100.0%		0	0	0	0	26,369,000		
R6年度 実施内容											
団員への年間報酬の支払い											
R5年度比較増減要因 大きな増減なし。											
R7年度増減見込み 大きな増減なし。											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業																																																																																																																																																											
R4	事業名	非常備消防総務事業																																																																																																																																																															
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																																																															
	政策	3 消防力を高めるまちづくり																																																																																																																																																															
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります																																																																																																																																																															
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、非常備消防総務事業により、各種研修会等への参加や検討会を通じて、消防団の活動環境整備に取り組む。		事業の概要 消防団役員の視察研修及び女性消防団員の研修への参加等により、消防団員の活動能力向上に取り組むとともに、消防団の活動環境整備について検討する。																																																																																																																																																													
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団活性化検討委員会において、活動環境整備について検討するため、会議を3回開催した。</li> <li>令和3年度の消防団員アンケート結果から査閲大会を廃止し活動環境を改善した。</li> </ul>					事業課題 消防団員を確保するため、活動環境の改善を進めていく必要がある。																																																																																																																																																											
各評価結果							総合判定評価																																																																																																																																																										
事業コスト評価		指標評価		事業内容評価			B 事業の進め方の改善の検討																																																																																																																																																										
一般財源	134.3%	D	成果	1	B	評価視点	評価内容																																																																																																																																																										
総事業コスト	536.2%	D	効率	1	B	効率性	4:高い																																																																																																																																																										
				人件費		必要性	4:高い																																																																																																																																																										
R6年度の方向性							コスト 縮小↓ 成果 維持→																																																																																																																																																										
査閲大会を廃止したことから、団員の活動環境を改善できた。							②事業規模																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="3">事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>600000</td> <td colspan="3">非常備消防総務費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R3年度</td> <td colspan="2">R4年度</td> <td>前年増減</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">84,000</td> <td colspan="2">81,000</td> <td>△ 3,000</td> <td>96.4%</td> <td>国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 81,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3">事業費割合(事業費/施策費)</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">項目</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td colspan="2">事業費内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>56,000</td> <td>84,000</td> <td>81,000</td> <td>節</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>24,000</td> <td>49,150</td> <td>66,000</td> <td>01 報酬</td> <td>0 16 公有財産購入費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">不用額</td> <td>32,000</td> <td>34,850</td> <td>15,000</td> <td>02 給料</td> <td>0 17 備品購入費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">執行率</td> <td>42.9%</td> <td>58.5%</td> <td>81.5%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0 18 負担金、補助及び交付金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費</td> <td>0 19 扶助費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0 20 貸付金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0 21 補償、補填及び賠償金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費</td> <td>66,000 22 償還金、利子及び割引料 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td>24,000</td> <td>49,150</td> <td>66,000</td> <td>08 旅費</td> <td>0 23 投資及び出資金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比較</td> <td>— —</td> <td>204.8% D</td> <td>134.3% D</td> <td>09 交際費</td> <td>0 24 積立金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員人件費</td> <td>0</td> <td>95,000</td> <td>707,000</td> <td>10 需用費</td> <td>0 25 寄附金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業コスト</td> <td>24,000</td> <td>144,150</td> <td>773,000</td> <td>11 役務費</td> <td>0 26 公課費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比較</td> <td>— —</td> <td>600.6% D</td> <td>536.2% D</td> <td>12 委託料</td> <td>0 27 繰出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>0 予備費 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14 工事請負費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15 原材料費</td> <td>0 合計 66,000</td> </tr> </tbody> </table>							款	項	目	事業番号	事業名称			9	1	2	600000	非常備消防総務費			R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳	84,000		81,000		△ 3,000	96.4%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 81,000	事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度		項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳		予算額		56,000	84,000	81,000	節	決算額	決算額		24,000	49,150	66,000	01 報酬	0 16 公有財産購入費 0	不用額		32,000	34,850	15,000	02 給料	0 17 備品購入費 0	執行率		42.9%	58.5%	81.5%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金 0	国庫支出金		0	0	0	04 共済費	0 19 扶助費 0	県支出金		0	0	0	05 災害補償費	0 20 貸付金 0	地方債		0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金 0	その他		0	0	0	07 報償費	66,000 22 償還金、利子及び割引料 0	一般財源		24,000	49,150	66,000	08 旅費	0 23 投資及び出資金 0	前年比較		— —	204.8% D	134.3% D	09 交際費	0 24 積立金 0	職員人件費		0	95,000	707,000	10 需用費	0 25 寄附金 0	総事業コスト		24,000	144,150	773,000	11 役務費	0 26 公課費 0	前年比較		— —	600.6% D	536.2% D	12 委託料	0 27 繰出金 0	主財源					13 使用料及び賃借料	0 予備費 0						14 工事請負費	0						15 原材料費	0 合計 66,000	<p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>団員の負担軽減に向けた検討を続け、団員確保に繋げていく。</p>
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																																													
9	1	2	600000	非常備消防総務費																																																																																																																																																													
R3年度		R4年度		前年増減	前年比	財源内訳																																																																																																																																																											
84,000		81,000		△ 3,000	96.4%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 81,000																																																																																																																																																											
事業費割合(事業費/施策費)			R2年度	R3年度	R4年度																																																																																																																																																												
項目		R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																																																																																												
予算額		56,000	84,000	81,000	節	決算額																																																																																																																																																											
決算額		24,000	49,150	66,000	01 報酬	0 16 公有財産購入費 0																																																																																																																																																											
不用額		32,000	34,850	15,000	02 給料	0 17 備品購入費 0																																																																																																																																																											
執行率		42.9%	58.5%	81.5%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金 0																																																																																																																																																											
国庫支出金		0	0	0	04 共済費	0 19 扶助費 0																																																																																																																																																											
県支出金		0	0	0	05 災害補償費	0 20 貸付金 0																																																																																																																																																											
地方債		0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金 0																																																																																																																																																											
その他		0	0	0	07 報償費	66,000 22 償還金、利子及び割引料 0																																																																																																																																																											
一般財源		24,000	49,150	66,000	08 旅費	0 23 投資及び出資金 0																																																																																																																																																											
前年比較		— —	204.8% D	134.3% D	09 交際費	0 24 積立金 0																																																																																																																																																											
職員人件費		0	95,000	707,000	10 需用費	0 25 寄附金 0																																																																																																																																																											
総事業コスト		24,000	144,150	773,000	11 役務費	0 26 公課費 0																																																																																																																																																											
前年比較		— —	600.6% D	536.2% D	12 委託料	0 27 繰出金 0																																																																																																																																																											
主財源					13 使用料及び賃借料	0 予備費 0																																																																																																																																																											
					14 工事請負費	0																																																																																																																																																											
					15 原材料費	0 合計 66,000																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="3">事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>600000</td> <td colspan="3">非常備消防総務費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> </tr> <tr> <td colspan="2">163,000</td> <td>82,000</td> <td>201.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>地方債</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>一般財源</td> <td>163,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R5年度</td> <td colspan="2">実施内容</td> <td colspan="3">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>活性化検討委員会の開催</li> <li>女性消防団活性化大会への参加</li> </ul> </td> <td colspan="3">大きな増減なし。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年度</td> <td colspan="2">実施内容</td> <td colspan="3">R7年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団活性化検討委員会の開催</li> <li>小笠支部幹部視察研修参加</li> <li>女性消防団員研修参加</li> </ul> </td> <td colspan="3">大きな増減なし。</td> </tr> </tbody> </table>							款	項	目	事業番号	事業名称			9	1	2	600000	非常備消防総務費			予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	163,000		82,000	201.2%		0	0						地方債	その他						0	0						一般財源	163,000	R5年度		実施内容		R5年度比較増減要因					<ul style="list-style-type: none"> <li>活性化検討委員会の開催</li> <li>女性消防団活性化大会への参加</li> </ul>		大きな増減なし。			R6年度		実施内容		R7年度比較増減要因					<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団活性化検討委員会の開催</li> <li>小笠支部幹部視察研修参加</li> <li>女性消防団員研修参加</li> </ul>		大きな増減なし。																																																																																
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																																													
9	1	2	600000	非常備消防総務費																																																																																																																																																													
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金																																																																																																																																																											
163,000		82,000	201.2%		0	0																																																																																																																																																											
					地方債	その他																																																																																																																																																											
					0	0																																																																																																																																																											
					一般財源	163,000																																																																																																																																																											
R5年度		実施内容		R5年度比較増減要因																																																																																																																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>活性化検討委員会の開催</li> <li>女性消防団活性化大会への参加</li> </ul>		大きな増減なし。																																																																																																																																																													
R6年度		実施内容		R7年度比較増減要因																																																																																																																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団活性化検討委員会の開催</li> <li>小笠支部幹部視察研修参加</li> <li>女性消防団員研修参加</li> </ul>		大きな増減なし。																																																																																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>171,000</td> <td>8,000</td> <td>104.9%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>171,000</td> </tr> </tbody> </table>							計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	171,000	8,000	104.9%		0	0	0	0	171,000																																																																																																																																									
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																									
171,000	8,000	104.9%		0	0	0	0	171,000																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <th>成果</th> <th>年度</th> <th>年度</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1</td> <td>消防団活性化検討委員会開催回数</td> <td>回</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>会議時間</td> <td>時間</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率</td> <td>人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	成果1	消防団活性化検討委員会開催回数	回	0.0	2.0	0.0	1.0	3.0	3.0				1	7		100.0%	B	100.0%	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0					効率1	会議時間	時間	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0				1	7	100.0%	B	100.0%	B	効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0																																																															
事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																																																																											
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																																																										
成果	年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率																																																																																																																																																										
成果1	消防団活性化検討委員会開催回数	回	0.0	2.0	0.0	1.0	3.0	3.0																																																																																																																																																									
			1	7		100.0%	B	100.0%																																																																																																																																																									
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																									
			0	0																																																																																																																																																													
効率1	会議時間	時間	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0																																																																																																																																																									
			1	7	100.0%	B	100.0%	B																																																																																																																																																									
効率	人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																																									
			0	0																																																																																																																																																													
<p>・消防団活性化検討委員会の開催</p>																																																																																																																																																																	
<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>消防団が抱える課題を把握し、解決には必要である。</p>																																																																																																																																																																	







事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業																																																																																																													
R4	事業名	消防自動車等整備事業																																																																																																																	
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																	
	政策	3 消防力を高めるまちづくり																																																																																																																	
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります																																																																																																																	
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、消防自動車等整備事業により、緊急車両等を計画的かつ適切に更新する。		事業の概要 各種災害への出動に対し、確実な災害対応を行うため、緊急車両等の更新及び整備を実施する。																																																																																																															
事業コスト分析	事業成果	導入から10年が経過し、老朽化した高規格救急自動車及び積載資機材を更新し、救急現場における迅速で確実な活動を継続して実施できた。																																																																																																																	
	事業課題	複雑多様化する火災、救急、救助等の災害出動に備え、計画的な車両更新が必要である。																																																																																																																	
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源 24.5% A</td> <td>成果 1 B</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト 31.1% A</td> <td>効率 1 B</td> <td>効率性 4:高い</td> <td>計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>必要性 4:高い</td> <td></td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源 24.5% A	成果 1 B	評価視点	評価内容	総事業コスト 31.1% A	効率 1 B	効率性 4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」		人件費	必要性 4:高い		総合判定評価 A 計画どおりに事業を進めることが適当 R6年度の方向性 コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ②事業規模																																																																																													
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																																																
	一般財源 24.5% A	成果 1 B	評価視点	評価内容																																																																																																															
	総事業コスト 31.1% A	効率 1 B	効率性 4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」																																																																																																															
		人件費	必要性 4:高い																																																																																																																
	担当評価	更新整備計画に基づき、導入から10年が経過し老朽化した高規格救急自動車を更新整備したことで、消防力の基盤強化に繋がった。																																																																																																																	
	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 複雑多様化する火災、救急、救助等の災害出動に備え、適切な車両更新とともに積載する資機材を見直していく。																																																																																																																	
	CHECK評価	予算(円)	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="2">事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>200000</td> <td colspan="2">消防自動車等整備事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R3年度</td> <td colspan="2">R4年度</td> <td>前年増減</td> <td>前年比</td> </tr> <tr> <td colspan="2">122,706,000</td> <td colspan="2">37,330,000</td> <td>△ 85,376,000</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費割合(事業費/施策費)</td> <td colspan="2">R2年度</td> <td colspan="2">R3年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R4年度</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">1,730,000</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称		9	1	3	200000	消防自動車等整備事業費		R3年度		R4年度		前年増減	前年比	122,706,000		37,330,000		△ 85,376,000	30.4%	事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度								R4年度						1,730,000																																																																	
款		項	目	事業番号	事業名称																																																																																																														
9		1	3	200000	消防自動車等整備事業費																																																																																																														
R3年度		R4年度		前年増減	前年比																																																																																																														
122,706,000		37,330,000		△ 85,376,000	30.4%																																																																																																														
事業費割合(事業費/施策費)		R2年度		R3年度																																																																																																															
R4年度																																																																																																																			
1,730,000																																																																																																																			
決算(円)		<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th colspan="2">事業費内訳</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>19,098,000</td> <td>122,706,000</td> <td>37,330,000</td> <td>節</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>19,094,710</td> <td>122,700,920</td> <td>37,326,399</td> <td>01 報酬</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>3,290</td> <td>5,080</td> <td>3,601</td> <td>02 給料</td> <td>908,000</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>6,325,000</td> <td>20,251,000</td> <td>10,000,000</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>12,200,000</td> <td>95,400,000</td> <td>25,600,000</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>569,710</td> <td>7,049,920</td> <td>1,726,399</td> <td>08 旅費</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1237.5% D</td> <td>24.5% A</td> <td>09 交際費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>0</td> <td>857,000</td> <td>1,074,000</td> <td>10 需用費</td> <td>225,550</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>19,094,710</td> <td>123,557,920</td> <td>38,400,399</td> <td>11 役務費</td> <td>24,960</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>647.1% D</td> <td>31.1% A</td> <td>12 委託料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">合併特例債【消防本部】</td> <td>25,600,000</td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>47,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">地震・津波対策等減災交付金</td> <td>10,000,000</td> <td>14 工事請負費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>15 原材料費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>合計</td> <td>37,326,399</td> </tr> </table>					項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳		予算額	19,098,000	122,706,000	37,330,000	節	決算額	決算額	19,094,710	122,700,920	37,326,399	01 報酬	0	不用額	3,290	5,080	3,601	02 給料	908,000	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	03 職員手当等	0	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	県支出金	6,325,000	20,251,000	10,000,000	05 災害補償費	0	地方債	12,200,000	95,400,000	25,600,000	06 恩給及び退職年金	0	その他	0	0	0	07 報償費	0	一般財源	569,710	7,049,920	1,726,399	08 旅費	2,300	前年比較	—	—	1237.5% D	24.5% A	09 交際費	0	職員人件費	0	857,000	1,074,000	10 需用費	225,550	総事業コスト	19,094,710	123,557,920	38,400,399	11 役務費	24,960	前年比較	—	—	647.1% D	31.1% A	12 委託料	0	主財源	合併特例債【消防本部】		25,600,000	13 使用料及び賃借料	47,300		地震・津波対策等減災交付金		10,000,000	14 工事請負費	0					15 原材料費	0					合計
項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳																																																																																																															
予算額	19,098,000	122,706,000	37,330,000	節	決算額																																																																																																														
決算額	19,094,710	122,700,920	37,326,399	01 報酬	0																																																																																																														
不用額	3,290	5,080	3,601	02 給料	908,000																																																																																																														
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	03 職員手当等	0																																																																																																														
国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0																																																																																																														
県支出金	6,325,000	20,251,000	10,000,000	05 災害補償費	0																																																																																																														
地方債	12,200,000	95,400,000	25,600,000	06 恩給及び退職年金	0																																																																																																														
その他	0	0	0	07 報償費	0																																																																																																														
一般財源	569,710	7,049,920	1,726,399	08 旅費	2,300																																																																																																														
前年比較	—	—	1237.5% D	24.5% A	09 交際費	0																																																																																																													
職員人件費	0	857,000	1,074,000	10 需用費	225,550																																																																																																														
総事業コスト	19,094,710	123,557,920	38,400,399	11 役務費	24,960																																																																																																														
前年比較	—	—	647.1% D	31.1% A	12 委託料	0																																																																																																													
主財源	合併特例債【消防本部】		25,600,000	13 使用料及び賃借料	47,300																																																																																																														
	地震・津波対策等減災交付金		10,000,000	14 工事請負費	0																																																																																																														
				15 原材料費	0																																																																																																														
				合計	37,326,399																																																																																																														
コスト分析	給料及び備品購入費は、更新車両及び資機材の単価が低いことにより、減額となった。																																																																																																																		
指標・実施内容	事業指標・評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値 年度</th> <th>目標値 年度</th> <th>目標値 達成率</th> <th>実績値 評価</th> <th>目標値 達成率</th> <th>実績値 評価</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>緊急車両等の更新・整備</td> <td>台</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>緊急車両等の車両数の維持</td> <td>台</td> <td>33.0</td> <td>33.0</td> <td>0.0</td> <td>33.0</td> <td>33.0</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度		指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	目標値 達成率	実績値 評価	目標値 達成率	実績値 評価	成果1	緊急車両等の更新・整備	台	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0				1	7		100.0%	B	100.0%	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0					効率1	緊急車両等の車両数の維持	台	33.0	33.0	0.0	33.0	33.0	33.0				1	7		100.0%	B	100.0%	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0																									
	事業指標・評価		R2年度		R3年度		R4年度																																																																																																												
	指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	目標値 達成率	実績値 評価	目標値 達成率	実績値 評価																																																																																																											
	成果1	緊急車両等の更新・整備	台	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																										
				1	7		100.0%	B	100.0%																																																																																																										
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																										
				0	0																																																																																																														
	効率1	緊急車両等の車両数の維持	台	33.0	33.0	0.0	33.0	33.0	33.0																																																																																																										
				1	7		100.0%	B	100.0%																																																																																																										
	効率人件費			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																										
			0	0																																																																																																															
事業実施内容	高規格救急自動車及び積載資機材の更新																																																																																																																		
実施内容	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="2">事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>200000</td> <td colspan="2">消防自動車等整備事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> </tr> <tr> <td colspan="2">36,773,000</td> <td>△ 557,000</td> <td>98.5%</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>7,609,000</td> <td>28,100,000</td> <td>0</td> <td>1,064,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R5年度</td> <td colspan="2">実施内容</td> <td colspan="2">下期実施内容変更見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">・資機材搬送車(菊川71)を更新 ・消防団車両を更新</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年度</td> <td colspan="2">実施内容</td> <td colspan="2">R5年度比較増減要因</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">・消防団車両(ポンプ車)を更新</td> <td colspan="2">消防団車両(ポンプ車)1台を更新する計画であることが減額の要因である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">R7年度増減見込み</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">化学消防自動車及び消防団車両(ポンプ車)の2台を更新する計画であり、化学消防自動車が高額であることにより増額見込みである。</td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称		9	1	3	200000	消防自動車等整備事業費		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	36,773,000		△ 557,000	98.5%		0			県支出金	地方債	その他	一般財源			7,609,000	28,100,000	0	1,064,000	R5年度		実施内容		下期実施内容変更見込み				・資機材搬送車(菊川71)を更新 ・消防団車両を更新				R6年度		実施内容		R5年度比較増減要因				・消防団車両(ポンプ車)を更新		消防団車両(ポンプ車)1台を更新する計画であることが減額の要因である。						R7年度増減見込み						化学消防自動車及び消防団車両(ポンプ車)の2台を更新する計画であり、化学消防自動車が高額であることにより増額見込みである。																																							
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																															
9	1	3	200000	消防自動車等整備事業費																																																																																																															
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金																																																																																																														
36,773,000		△ 557,000	98.5%		0																																																																																																														
		県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																														
		7,609,000	28,100,000	0	1,064,000																																																																																																														
R5年度		実施内容		下期実施内容変更見込み																																																																																																															
		・資機材搬送車(菊川71)を更新 ・消防団車両を更新																																																																																																																	
R6年度		実施内容		R5年度比較増減要因																																																																																																															
		・消防団車両(ポンプ車)を更新		消防団車両(ポンプ車)1台を更新する計画であることが減額の要因である。																																																																																																															
				R7年度増減見込み																																																																																																															
				化学消防自動車及び消防団車両(ポンプ車)の2台を更新する計画であり、化学消防自動車が高額であることにより増額見込みである。																																																																																																															
実行計画事業(円)	<table border="1"> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>23,197,000</td> <td>△ 13,576,000</td> <td>63.1%</td> <td></td> <td>0</td> <td>6,919,000</td> <td>13,600,000</td> <td>0</td> <td>2,678,000</td> </tr> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	23,197,000	△ 13,576,000	63.1%		0	6,919,000	13,600,000	0	2,678,000																																																																																												
計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																											
23,197,000	△ 13,576,000	63.1%		0	6,919,000	13,600,000	0	2,678,000																																																																																																											
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	複雑多様化する災害から、市民の生命、身体及び財産を守るために必要な事業である。																																																																																																																		







事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業																																													
R4	事業名	常備消防通信管理事業																																																	
総合計画	基本目標	75 市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す																																																	
	政策	1 市民の安心・安全を守ります																																																	
	施策	12 情報連絡室業務																																																	
	事業の目的	市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指すため、常備消防通信管理事業により、消防無線の維持管理及びその他の通信回線の維持と中東遠消防指令センターの適切な運営を行うことで、円滑な消防業務を運用する。		無線機器及び電話設備等の保守管理や維持管理を行い、災害に即時対応できる体制を確保する。																																															
事業の概要																																																			
事業成果	消防救急無線及び消防業務に係るその他の通信回線の適切な維持管理とともに、通信指令事務協議会において、機器等の整備について検討し、消防指令センター運営の円滑化を図った。																																																		
事業課題	中東遠消防指令センターの全更新が進められ、令和7年度に運用開始を予定している。																																																		
事業コスト分析	事業コスト評価	各評価結果				総合判定評価																																													
	事業内容評価	A 計画どおりに事業を進めることが適当				R6年度の方向性																																													
CHECK評価	評価分析・総合判定評価	無線機器・電話設備等の維持管理を適切に行うことができた。				コスト 維持→ 成果 維持→ 改善 ②事業規模																																													
	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 消防指令センターの全更新に向けて、協議を継続していく。																																																	
CHECK評価	実行計画事業	R5年度 実施内容				R6年度 実施内容																																													
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防無線機器の更新・修繕</li> <li>電話機の維持管理</li> <li>無線機保守点検委託料</li> <li>中東遠消防指令センター運営経費負担金</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>消防無線機器の修繕</li> <li>消防庁舎固定電話及び救急・救助活動に係る携帯電話使用料</li> <li>消防庁舎構内交換電話設備の保守点検</li> <li>無線機保守点検委託料</li> <li>無線機再免許申請委託料(260MHz/400MHz帯)</li> <li>中東遠消防指令センター運営経費負担金</li> </ul>																																													
CHECK評価	コスト分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役務費は、携帯電話料金が減ったため減額となった。</li> <li>・備品購入費は、消防用無線機バッテリー更新機器の単価が低い為減額となった。</li> <li>・中東遠消防指令センター運営経費負担金は、デジタル無線の部分更新が昨年度完了したため減額となった。</li> </ul>																																																	
	指標・実施内容	事業実施内容				事業実施内容																																													
CHECK評価	指標評価	事業指標・評価				事業実施内容																																													
	指標評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果1 無線機の適切な維持管理</td> <td>回</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率1 無線機用備品の早期購入</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>効率人件費</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1 無線機の適切な維持管理	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	効率1 無線機用備品の早期購入	%	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標名	単位	R2年度		R3年度				R4年度																																											
		現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																												
成果1 無線機の適切な維持管理	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0																																												
成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																												
効率1 無線機用備品の早期購入	%	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0																																												
効率人件費		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																												
CHECK評価	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明				事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																																													
	実施内容	災害に備えた無線機器・電話設備等の維持管理に努めて、消防力の強化を図り、市民を災害から守るという使命の下に、常に万全の体制を維持していくことが必要である。																																																	

